

6月21日(土) A会場(神戸国際会議場 1F メインホール)

8:30~9:30 先達に聴く 4

司会：和辻 健太 川崎医科大学精神科学教室

PM4

反応性から捉え直す、大人の精神科臨床：素朴な心因論の復権を

○青木 省三

公益財団法人慈圭会精神医学研究所



9:30~10:30 特別講演 4

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

SL4

精神疾患のバイオ・サイコ・ソーシャルな、そしてスピリチュアルな理解を目指して

○神庭 重信

飯田病院／日本うつ病センター／九州大学



10:45~11:45 教育講演 16

司会：戸田 裕之 防衛医科大学校精神科学講座

EL16

うつと不安

○中川 伸

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座



11:45~12:45 教育講演 17

司会：黒田 典生 医療法人光佑会くろだ病院

EL17

日常臨床にいかす認知行動療法

○大野 裕

大野研究所





13:20~14:20 教育講演 18

司会：菱本 明豊 神戸大学大学院医学研究科

EL18

精神疾患を抱える患者のがん予防・医療格差の解消：中国5県での実装研究

○稲垣 正俊

島根大学医学部精神医学講座



6月21日(土) B会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室)

8:30~10:30

シンポジウム 102

「機能性神経障害」-変換症(転換性障害)診療における脳神経内科と精神科の協働の新しい視点

司会：高木 俊輔

東京科学大学

谷口 豪

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

SY102-1

機能性神経障害とは

○園生 雅弘

帝京大学医療技術学部視能矯正学科

SY102-2

機能性神経障害と解離症・変換症との異同

○吉村 匡史

関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科

SY102-3

機能性神経障害の電気生理検査

○関口 輝彦

横浜市立みなと赤十字病院脳神経内科

SY102-4

精神科臨床で遭遇する機能性神経障害

○近藤 伸介

東京大学医学部附属病院

SY102-5

機能性神経障害の治療(告知とその後)

○音成 秀一郎

広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学

【指定発言者】

谷口 豪

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

〈メインコーディネーター〉 高木 俊輔

東京科学大学

〈サブコーディネーター〉 谷口 豪

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

10:45~12:45 **会長企画シンポジウム 5**
安静時fMRIを用いた精神疾患の客観的診断確立と層別化

司会：岡田 剛 広島大学大学院精神神経医科学
川人 光男 ATR脳情報通信総合研究所／株式会社XNef



PS5-1 **脳機能結合からみる統合失調症バイオマーカー：診断から状態・病期マーカーへの広がり**

○河島 孝彦¹、山下 歩²、吉原 雄二郎¹、小林 祐子¹、岡田 直大³、笠井 清登³、
澤 明⁴、吉本 潤一郎^{2,5}、山下 宙人²、村井 俊哉¹、宮田 淳^{1,6}、川人 光男^{2,7}、
高橋 英彦⁸

¹京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)、²ATR脳情報通信総合研究所、
³東京大学大学院医学系研究科臨床神経精神医学教室、⁴ジョンズ・ホプキンス大学精神医学教室、
⁵藤田医科大学大学院医学研究科医用データ科学講座、⁶愛知医科大学精神科学講座、
⁷株式会社XNef、⁸東京科学大学精神科(精神行動医科学分野)

PS5-2 **安静時脳回路から探る自閉スペクトラム症の生物学的基盤とその展望**

○板橋 貴史¹、山下 歩^{2,8}、高原 雄史²、八幡 憲明^{3,7}、青木 悠太¹、藤野 純也^{1,4}、
吉原 雄二郎⁵、中村 元昭¹、青木 隆太¹、沖村 宰¹、太田 晴久¹、酒井 雄希^{2,9}、
高村 真広⁶、市川 奈穂⁶、岡田 剛⁶、岡田 直大⁷、笠井 清登⁷、田中 沙織²、
今水 寛²、加藤 進昌¹、高橋 英彦⁴、川人 光男^{2,9}、山下 宙人²、橋本 龍一郎^{1,10}

¹昭和医科大学発達障害医療研究所、
²株式会社国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所、
³量子科学技術研究開発機構量子生命科学研究所、⁴東京科学大学大学院医歯学総合研究科、
⁵京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座、
⁶広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学、⁷東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、
⁸東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻、⁹株式会社XNef、
¹⁰理化学研究所革新知能統合研究センター

PS5-3 **安静時fMRIとAI技術の活用で切り拓く診断を超えた精神疾患研究の新たな展望**

○山下 歩^{1,2}

¹株式会社国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所、
²東京大学大学院情報理工学系研究科

PS5-4 **視床-体性運動機能結合によるうつ病患者サブタイピングは抗うつ薬治療効果を予測する**

○山下 宙人^{1,2}、柏木 雄人^{1,3}、徳田 智磯¹、高原 雄史^{1,3}、酒井 雄希^{1,4}、
吉本 潤一郎^{1,5}、山下 歩^{1,6}、吉岡 利福^{1,4}、小川 公一³、岡田 剛⁷、岡本 泰昌⁷、
川人 光男^{1,4}

¹国際電気通信基礎技術研究所、²理化学研究所、³塩野義製薬株式会社、⁴Xnef社、⁵藤田医科大学、
⁶東京大学、⁷広島大学

PS5-5 **うつ病診断補助脳回路マーカーの社会実装に向けた挑戦**

○酒井 雄希^{1,2}

¹ATR脳情報通信総合研究所、²株式会社XNef

〈メインコーディネーター〉 岡田 剛 広島大学大学院精神神経医科学
〈サブコーディネーター〉 酒井 雄希 ATR脳情報通信総合研究所／株式会社XNef



6月21日(土) C会場(神戸国際会議場 3F レセプションホール)

8:30~10:30 シンポジウム 103 社会の中で精神科医療の守備範囲はどこまでか

司会：伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ
東 奈央 つぐみ法律事務所

SY103-1 精神医療はシームレスであるべきか？

○池原 毅和
東京アドヴォカシー法律事務所

SY103-2 未来を掴むー限界を認め、助けを求め、負えない責任を手放し、本来の役割を差し出し合い困難を打破するー

○蓑島 豪智
御荘診療所

SY103-3 精神障害者へのケア責任についての一考察～重い精神障害のある人への地域生活支援を通じて～

○金井 浩一
一般社団ライフラボ相談支援事業所しっぽふぁーれ

SY103-4 精神障害者家族と社会福祉制度

○風間 朋子
関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科

〈メインコーディネーター〉伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ
〈サブコーディネーター〉渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

10:45~12:45 シンポジウム 104 (親子・学校・女性に関する委員会) 子どもの安心と安全を紡ぎ、健やかな成長を促すー私たち精神科医にできることー

司会：二宮 貴至 浜松市精神保健福祉センター
細金 奈奈 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック

SY104-1 精神科医にできる親子関係の支援

○細金 奈奈
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

SY104-2 精神科医として、子と親と地域を繋ぐ

○平山 哲
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター

SY104-3 学校現場を通じて子どもたちを守るー名古屋市との連携ー

○山田 敦朗^{1,2}
¹名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座、²名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センター

SY104-4 共同親権の課題-子どもの安心、安全を紡ぐために、私たちが考えたいこと

○上野 千穂
京都市児童福祉センター診療所

〔指定発言者〕

菊地 紗耶

東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〈メインコーディネーター〉 二宮 貴至

浜松市精神保健福祉センター

〈サブコーディネーター〉 細金 奈奈

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック

13:20～15:20 シンポジウム 105

高齢の精神疾患患者におけるアドバンス・ケア・プランニング-自己決定と自分らしい生き方を実現するために

司会：松原 敏郎
金井 玉奈

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座
富士リハビリ病院

SY105-1

高齢心不全患者に対するアドバンス・ケア・プランニング

○大石 醒悟

医療法人社団まほし会真星病院循環器内科

SY105-2

認知症の人のアドバンス・ケア・プランニングー住み慣れた地域で暮らし続けるためにー

○吉岩 あおい

医療法人新生会宇佐胃腸内科医院

SY105-3

高齢の精神疾患患者のACPに活かせる、がん患者の意思決定支援プロセスからのヒント

○松原 敏郎、中川 伸

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

SY105-4

長期入院中の統合失調症患者におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）導入の現状と課題

○金井 玉奈、金岡 啓樹、西村 行徳、引場 智、高橋 伸忠

富士リハビリ病院

〔指定発言者〕

津田 葉摘

カウンセリングセンターきょうと

〈メインコーディネーター〉 金井 玉奈

富士リハビリ病院

〈サブコーディネーター〉 松原 敏郎

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

6月21日（土） D会場（神戸国際会議場 4F 401会議室）

8:30～10:30 シンポジウム 106

精神保健医療の従事者教育のメソッドを考える

司会：張 賢徳
大塚 耕太郎

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY106-1

支援困難な「社会的ひきこもり」におけるメタバースやVR活用による支援力向上プロジェクト

○加藤 隆弘¹、浅海 久美子²、久保 太聖³、松島 俊夫³、三淵 啓自⁴、林 裕子⁵、浅海 道子²

¹北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、²特定非営利活動法人JACFA、

³九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、⁴デジタルハリウッド大学院大学、⁵山口大学大学院技術経営研究科



SY106-2

全国の精神保健福祉センターにおける従事者教育ーギャンブル行動症の回復プログラムを例にして

○小原 圭司

社会医療法人正光会松ヶ丘病院

SY106-3

地域精神保健における保健師やボランティアへの教育

○赤平 美津子^{1,2}、大塚 耕太郎^{1,2,3}

¹岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、²岩手県こころのケアセンター、

³岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY106-4

精神保健医療の従事者教育のメソッド

○大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座

〈メインコーディネーター〉 大塚 耕太郎

岩手医科大学医学部神経精神科学講座

〈サブコーディネーター〉 加藤 隆弘

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

小原 圭司

社会医療法人正光会松ヶ丘病院

10:45~12:45

シンポジウム 107

矯正医療における精神科医の役割

司会：池田 伸

広島刑務所

中野 温子

浪速少年院

SY107-1

少年鑑別所における児童精神科医の役割

○定本 ゆきこ

京都少年鑑別所

SY107-2

非行・犯罪と発達の見点

○富田 拓^{1,2}

¹網走刑務所、²北海道家庭学校

SY107-3

少年院における精神科医の役割

○中野 温子

浪速少年院

SY107-4

刑務所改革と精神科医への期待

○池田 伸

広島刑務所

〈メインコーディネーター〉 池田 伸

広島刑務所

〈サブコーディネーター〉 中野 温子

浪速少年院

13:20~15:20

シンポジウム 108

総合病院における精神科病棟の必要性

司会：長谷川 雄介

富山市立富山市民病院

甲斐 利弘

大阪市立総合医療センター

SY108-1

相互理解が成長につながる

○射場 亜希子

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

SY108-2 精神科一般病床を有する無床総合病院精神科における現状と課題

○渋谷 譲

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構日本海総合病院

SY108-3 三次救命救急センターと単科精神科救急病院が合築して見えた世界

○杉澤 淳子、山中 浩嗣、花岡 晋平、田久保 隆介、高橋 由美子、劉 昱寛、阿部 貴之、
深見 悟郎

千葉県総合救急災害医療センター

SY108-4 救命救急センター併設の有床総合病院の役割

○松石 邦隆、福島 春子、松田 耕平、橋本 隆史

神戸市立医療センター中央市民病院精神・神経科

〈メインコーディネーター〉 長谷川 雄介 富山市立富山市民病院

〈サブコーディネーター〉 甲斐 利弘 大阪市立総合医療センター

6月21日(土) E会場(神戸国際会議場 4F 402会議室)

8:30~10:30 シンポジウム 109

In Dialogue and Practice: 学生主体の活動、医師と学生の協働が拓く医学教育

司会：福元 進太郎 福井大学医学部精神医学
幅田 加以瑛 福井大学医学部精神医学

SY109-1 「教える／教えられる」を超えて：大学でのシネマサイキアトリーとフィールドワークの実践

○福元 進太郎、幅田 加以瑛

福井大学医学部精神医学

SY109-2 放課後支援教室Togetherの活動について

○江部 朱音

福井大学

SY109-3 「知らない間に医療を体験する」：筐体型ゲームが切り開く医療の未来

○中澤 有佐

奈良県立医科大学

SY109-4 医学生が主催した中高生向け課題解決型プログラムによる発達障害への理解促進の取り組み

○相良 壮馬

大阪大学医学部医学科

SY109-5 シネマ・ミーツ・メディシン&エシックス：長崎大学における映画を活用した医学教育の探求

○小澤 寛樹

長崎大学医学部国際・地域精神健康科学分野

〈メインコーディネーター〉 福元 進太郎 福井大学医学部精神医学



10:45～12:45 シンポジウム 110

精神科医療における教育プログラムの進化: Off-the-Job Training による臨床実践の質向上

司会: 橋本 亮太 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

SY110-1 ガイドラインを学ぶ講習会とは

○山田 恒^{1,2}

¹兵庫医科大学、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY110-2 コロナ禍を乗り越え、進化する精神科教育: Web 講習の導入と効果

○飯田 仁志

福岡大学

SY110-3 統合失調症およびうつ病の治療ガイドラインに関する教育が精神科医の治療行動に及ぼす影響

○安田 由華^{1,2,3}

¹医療法人フォスター生きたる育む輝くメンタルクリニック、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³公益社団法人大阪精神科診療所協会

SY110-4 患者・家族・多職種スタッフに対する普及活動～利用者のリテラシー向上から働きかける

○市橋 香代

東京大学医学部附属病院

SY110-5 ガイドライン一致率の臨床現場での活用に向けて

○福本 健太郎

岩手医科大学神経精神科学講座

〔指定発言者〕

松坂 雄亮

長崎県精神医療センター

〔指定発言者〕

中尾 智博

九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

〈メインコーディネーター〉 古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

〈サブコーディネーター〉 飯田 仁志

福岡大学医学部精神医学教室

13:20～15:20 シンポジウム 111

所属を越えた若手精神科医の交流と研鑽

司会: 入来 晃久 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
清水 俊宏 埼玉県立精神医療センター

SY111-1 オンラインコミュニティ「Club Psychiatry」における精神科医療従事者の交流と研鑽

○別府 拓紀

医療法人清陵会南ヶ丘病院

SY111-2 精神科医療の魅力を次世代へ: 若手精神科医が果たす役割

○北岡 淳子^{1,2}、安藝 森央¹、射場 亜希子³、入来 晃久¹、大矢 希¹、黒田 真奈¹、後藤 優友¹、

櫻井 飛鳥¹、新福 伸久¹、錫谷 研¹、中神 由香子⁴、堀之内 徹¹、宮田 潮¹、宮野 史也¹、山口 博行¹、

山口 泰成¹、横山 健気¹

¹認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会、²公益財団法人復光会垂水病院、

³兵庫県立はりま姫路総合医療センター、⁴京都大学学生総合支援機構統括相談室

SY111-3

所属を超えて若手精神科医自身で運営し、国際交流及び研究につなげる合宿型研修会の今と未来

○錫谷 研^{1,2}、宮野 史也²、大木 絵美梨²、石島 洋輔²、小野 剛²、木村 憲一²、香田 将英²、後藤 優友²、
新福 伸久²、田鎖 遥²、出利葉 健太²、畠田 順一²、春本 克太²、宮田 潮²、北岡 淳子²、入来 晃久²

¹福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、²認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会

SY111-4

若手精神科医のキャリアを支える学術ネットワークの構築を目指して

○山口 博行^{1,2}、香田 将英²、倉持 泉²、清水 俊宏²、川竹 絢子²、山口 泰成²、飯島 由佳²、新福 伸久²、
出利葉 健太²、安藝 森央²

¹国立精神・神経医療研究センター、²認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会

SY111-5

新時代における若手精神科医の役割と日本若手精神科医の会の変革：伝統と革新の調和を目指して

○宮野 史也^{1,2}、入来 晃久²、大木 絵美梨²、大矢 希²、川竹 絢子²、北岡 淳子²、香田 勝英²、
清水 俊宏²、新福 伸久²、錫谷 研²、堀之内 徹²、宮田 潮²、山口 博行²、山口 泰成²

¹北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、²認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会

〔指定発言者〕

安藝 森央

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

〔指定発言者〕

三村 將

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 宮野 史也

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室／認定特定
非営利活動法人日本若手精神科医の会

〈サブコーディネーター〉 安藝 森央

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座(精神医学)

清水 俊宏

埼玉県立精神医療センター

6月21日(土) F会場(神戸国際会議場 4F 403会議室)

8:30~10:30

シンポジウム 112

精神医療における身体愁訴 ～東洋医学的解釈と介入～

司会：中村 元昭 昭和医科大学
松浦 悠人 東京有明医療大学

SY112-1

精神科臨床における身体愁訴の精神医学的解釈と介入可能性

○中村 元昭¹、吉田 勝臣²、伊津野 拓司^{1,2}

¹昭和医科大学、²神奈川県立精神医療センター

SY112-2

Medically unexplained symptoms (MUS) の診療に東洋医学を活用する意義

○増田 卓也^{1,2}

¹三井記念病院総合内科・膠原病リウマチ内科、²東邦大学医療センター大森病院東洋医学科

SY112-3

精神疾患患者の身体愁訴の緩和に役立つ鍼灸治療

○松浦 悠人

東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科

SY112-4

最新科学で解明された鍼灸のメカニズム

○建部 陽嗣

量子科学技術研究開発機構



〔指定発言者〕

山本 高穂

NHK コンテツ制作局

〈メインコーディネーター〉 中村 元昭

昭和医科大学

〈サブコーディネーター〉 松浦 悠人

東京有明医療大学

10:45～12:45 シンポジウム 113

自律神経バイオマーカー研究の現状と展望

司会：榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科

SY113-1

ウェアラブルデバイスを用いた診断横断的なメンタルヘルス評価の妥当性の検証

○中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター

SY113-2

心拍変動データを用いたプログラム医療機器、ヘルスケア機器開発の実際

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部

SY113-3

うつ病における自律神経の日内リズム異常とその腸内細菌叢との関連の可能性

○功刀 浩^{1,2}

¹帝京大学医学部、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY113-4

精神疾患患者における自律神経活動—抗精神病薬の影響を中心に

○服部 早紀¹、岸田 郁子^{1,2}、須田 顕¹、宮内 雅利¹、野口 信彦¹、白石 洋子¹、篠川 佳音¹、浅見 剛¹

¹横浜市立大学医学部精神医学教室、²医療法人社団清心会藤沢病院

SY113-5

精神科医療における自律神経検査の結果をどのように評価するのか

○榛葉 俊一

静岡済生会総合病院

〈メインコーディネーター〉 榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科

13:20～15:20 シンポジウム 114

「にも包括」時代のアウトリーチから始まる多機関連携—当事者の希望を軸に—

司会：渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

上島 雅彦 一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院

SY114-1

多機関協働による認知症初期集中支援チームの実践

○岡崎 公彦

岡崎クリニック

SY114-2

佐賀県における医療と引きこもり支援団体との共同・協働・連携

○谷口 研一郎¹、谷口 仁史²、大宅 由香²

¹さが恵比須メンタルくりにく、²認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス

SY114-3

地域協働を進めるIPSの実践

○福武 周作

社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル

SY114-4

強度行動障害がある家庭に届ける多機関連携

○渡邊 真里子

ちはやACTクリニック

〔指定発言者〕

野口 正行

岡山県精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

〈サブコーディネーター〉 上島 雅彦 一般財団法人竹田健康財団竹田綜合病院

6月21日(土) G会場(神戸国際会議場 5F 501会議室)

8:30～10:10

ワークショップ 13

心理的サポートを提供するデジタルおよびモバイル技術に関する話題

司会：奥山 純子 尚絅学院大学総合人間科学系
前川 真姫 奈良教育大学教育学部

WS13

〈講演者〉

船越 俊一

社会医療法人寿栄会ありまこうげんホスピタル

門廻 充侍

秋田大学情報データ科学部

宮本 彩

環太平洋大学体育学部

〈メインコーディネーター〉 奥山 純子

尚絅学院大学総合人間科学系

〈サブコーディネーター〉 門廻 充侍

秋田大学情報データ科学部

10:45～12:25

ワークショップ 14

措置診察実践セミナー(平成30年ガイドライン・令和5年法改正準拠)

司会：新津 富央 千葉大学大学院医学研究院精神医学
瀬戸 秀文 福岡県立精神医療センター太宰府病院

WS14

〈講演者〉

平田 豊明

千葉県総合救急災害医療センター／医療法人学而会木村病院

椎名 明大

千葉大学社会精神保健教育研究センター

須藤 佑輔

千葉大学医学部附属病院精神神経科・総合医療教育研修センター

〈メインコーディネーター〉 新津 富央

千葉大学大学院医学研究院精神医学

〈サブコーディネーター〉 田所 重紀

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

13:20～15:20

シンポジウム 115

精神科外来で内観療法をどう活用するのか

司会：塚崎 稔 三和中央病院
熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

SY115-1

精神科診療所外来における記録内観療法について

○飯島 正明

飯島クリニック



SY115-2

外来診療における内観療法的アドバイス

○河本 泰信
よしの病院

SY115-3

依存症患者の「適応期」におけるノート内観の治療的効果

○海野 順
医療法人社団光風会三光病院

〔指定発言者〕

長田 清
長田クリニック

〈メインコーディネーター〉 塚崎 稔 三和中央病院
〈サブコーディネーター〉 熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

6月21日(土) H会場(神戸国際会議場 5F 502会議室)

8:30~10:30

シンポジウム 116 (精神神経学雑誌編集委員会)

和文誌の意義と展望:わが国の精神医学のさらなる発展に向けて

司会: 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

SY116-1

精神神経学雑誌に原著論文を投稿した経験から

○山田 浩樹^{1,2}
¹小石川メンタルクリニック、²昭和医科大学医学部精神医学講座

SY116-2

精神神経学雑誌への委員会調査の報告とその後のrTMS療法の発展

○高橋 隼^{1,2,3,4}
¹大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、²公益財団法人浅香山病院臨床研究研修センター、
³大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科、⁴和歌山県立医科大学神経精神医学教室

SY116-3

和文誌投稿を通じた臨床への貢献:システムズアプローチの普及と実装を願って

○浅野 久木
医療法人成精会刈谷病院

SY116-4

総合病院精神医学

○岸 泰宏^{1,5}、澤村 岳人^{2,5}、岩田 正明^{3,5}、西村 勝治^{4,5}
¹日本医科大学武蔵小杉病院、²防衛省海上幕僚監部、³鳥取大学医学部統合内科医学講座精神行動医学分野、
⁴東京女子医科大学医学部精神医学講座、⁵日本総合病院精神医学会

SY116-5

日本社会精神医学会雑誌の歩みとその意義

○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

〔指定発言者〕

中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
〈サブコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野
嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

10:45～12:45 シンポジウム 117

広がる認知行動療法の適用疾患：多様な病態への新たなアプローチと治療展開

司会：中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学
藤澤 大介 慶應義塾大学医学部／国立研究開発法人国立がん研究センター

SY117-1 成人期の注意欠如・多動症に対する個別認知行動療法プログラムの開発と実装に関する検討

○久我 弘典
国立精神神経医療研究センター

SY117-2 認知症介護家族に対する認知行動療法

○藤澤 大介^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部、²国立研究開発法人国立がん研究センター

SY117-3 適応反応症に対する認知行動療法

○中川 敦夫
聖マリアンナ医科大学

SY117-4 慢性うつ（持続性抑うつ）に対する認知行動療法の考え方をを用いたアプローチ

○菊地 俊暁
慶應義塾大学

〈メインコーディネーター〉 中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学

13:20～15:20 シンポジウム 118

向精神薬と自動車運転 －エビデンスの社会実装とリスクコミュニケーション－

司会：松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学
岩本 邦弘 名古屋大学医学部附属病院精神科

SY118-1 運転薬効評価ガイドラインと新規運転評価系の臨床応用

○岩本 邦弘
名古屋大学医学部附属病院精神科

SY118-2 向精神薬が自動車の運転技能に及ぼす影響の判定基準について

○中林 哲夫
独立行政法人医薬品医療機器総合機構

SY118-3 統合失調症患者の運転技能に影響を与える要因について

○小西 勇輝
産業医科大学

SY118-4 てんかんにおける自動車の運転技能に影響する要因とリスクコミュニケーション

○渡邊 さつき
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

SY118-5 向精神薬と自動車運転 －産業医の立場から－

○鎌田 直樹
北里大学医学部精神科学

〈メインコーディネーター〉 岩本 邦弘 名古屋大学医学部附属病院精神科
〈サブコーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学
中林 哲夫 医薬品医療機器総合機構



6月21日(土) I会場(神戸国際会議場 5F 504会議室)

8:30~9:30

一般演題(口演) 28

精神科合併症

司会：川俣 安史 獨協医科大学

3-OS28-1

*身体疾患を合併した認知症患者の入院における代理意思決定

○中澤 慧¹、島田 直子¹、崔 震浩¹、大森 美樹²、中島 政美²、原 秀之²、上間 貴子³、渡邊 由佳⁴、関口 秀文²

¹医療法人高柳会大平下病院、²医療法人高柳会赤城病院、³医療法人社団敬寿会前橋城南病院、

⁴獨協医科大学日光医療センター

3-OS28-2

精神科基幹病院における統合失調症を持つ患者のがん薬物療法の経験

○和氣 仁美¹、田波 秀朗¹、石田 琢人²、酒井 拓也³、沼田 直幸³、稲熊 徳也³、稲見 茉莉³、田口 春菜³、水野 雅文³

¹地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院外科、

²地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院内科、

³地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院精神科

3-OS28-3

* Amoxapine に関連してジストニアを生じた一例

○吉原 尊浩¹、坂本 健太郎²、今井 一彰¹、上田 和也¹、西川 章代¹、井上 慶一¹、岸本 年史¹

¹医療法人鴻池会秋津鴻池病院、²三重県立こころの医療センター

3-OS28-4

*胃内に3cm大の薬剤塊を形成しリチウム中毒をきたしたとされる高齢女性の一例

○陸 祥児、瀧口 一夫、木野田 昌彦、熊代 新、増井 寛治、金森 良

公益財団法人金森和心会針生ヶ丘病院

3-OS28-5

経鼻胃管症候群を発症したカタトニアの1例

○向笠 廣太¹、増本 政也¹、仲田 奏崇²、佐藤 文彦²、竹下 愛弓¹、千葉 比呂美¹、小曾根 基裕¹

¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²久留米大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座

9:30~10:30

一般演題(口演) 29

精神科救急・合併症治療

司会：佐藤 仁 こころの医療センター五色台

3-OS29-1

統合失調症における急性虫垂炎の重症度に寄与する要因の統計的解析

○川上 伸太郎^{1,2}、雨宮 きよみ³、和氣 仁美⁴、田波 秀朗⁴、宮下 光弘⁵、水野 雅文²

¹東京都立精神保健福祉センター、²地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院精神科、

³地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院放射線科、

⁴地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院外科、⁵公益財団法人東京都医学総合研究所

3-OS29-2

救急外来において、精神科を含めたダブルボード取得医が身体科に所属することの効果に関する単施設観察研究

○寺山 毅郎

自衛隊中央病院

3-OS29-3

神奈川県立精神医療センター急性期病棟の取り組み ～単科病院での「断らない」精神科救急医療の可能性～

○北川 理映子¹、鹿野 哲夫²、西村 康平¹、森脇 久視¹

¹神奈川県立精神医療センター救急診療科、²神奈川県立精神医療センター地域連携・訪問支援科

3-OS29-4 自殺企図による一般医療機関での治療後に精神科病院へ転院してきた症例の現状
○北元 健、堀 達
積信会長谷川病院

10:45～11:45 一般演題（口演）30
薬物療法

司会：三浦 至 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

3-OS30-1 注意欠如多動症の小児におけるリスデキサンフェタミンメシル酸塩の製造販売後調査の中間解析結果
○岡田 俊¹、西垣 信裕²、山下 孝治²、齊藤 万比古³
¹奈良県立医科大学精神医学講座、²武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス、
³恩賜財団母子愛育会愛育研究所

3-OS30-2 SSRIやSNRIの離脱に関する臨床診断面接DID-W1日本語版（DID-W1-J）の検者間信頼性に関する研究
○横山 遼¹、中村 倫之¹、大江 美佐里¹、上松 謙²、堀 輝³、Cosci Fiammetta⁴
¹久留米大学医学部神経精神医学教室、²うえまつメンタルクリニック、³福岡大学医学部精神医学教室、
⁴Department of Psychiatry & Neuropsychology, Maastricht University

3-OS30-3 成人期注意欠如多動症患者におけるグアンファシン塩酸塩徐放錠の製造販売後調査の結果
○岩波 明¹、白井 克明²、西垣 信裕²
¹昭和医科大学附属烏山病院、²武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス

3-OS30-4 当院（岩手県立南光病院）医療標準化部会におけるLAI導入促進のための取り組みに関する報告
○村川 泰徳、高橋 徹、松原 智広、千葉 雄太、土屋 輝夫、稲富 浩
岩手県立南光病院

3-OS30-5 ＊歩行運動に伴う同語反復症に対してカルバマゼピンが有効であった脳梗塞の1例
○下山田 竜一郎¹、金子 宜之¹、鈴木 貴浩¹、金森 正¹、中嶋 秀人²、鈴木 正泰¹
¹日本大学医学部精神医学系精神医学分野、²日本大学医学部内科学系神経内科学分野

11:45～12:45 一般演題（口演）31
自殺予防

司会：藤瀬 昇 熊本大

3-OS31-1 政府データベースを用いた2009年から2023年までの日本の自殺死亡率の推移
○松本 龍介¹、元村 英史¹、岡田 元宏^{1,2}
¹三重大学医学部附属病院、²三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻精神神経科学講座

3-OS31-2 潜在クラスモデルを用いた自死者の特徴の探索的検討
○村上 龍^{1,3}、上久保 敦^{1,2}、守岡 大吾¹、福井 建皓¹、平出 敦¹、黒木 尚長^{2,3}
¹明治国際医療大学救急救命学講座、²大阪府監察医事務所、³千葉科学大学大学院危機管理学研究科

3-OS31-3 当院救命救急センターに搬送された自傷・自殺企図者の変遷 ～第2次自殺総合対策大綱からの12年
○臼杵 理人¹、小原 佐衣子¹、松本 俊彦²、長谷川 栄寿¹
¹国立病院機構災害医療センター、²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部



3-OS31-4

高校生のWEBストレスチェックの実施と精神科医のコンサルテーションについて

○池水 結輝^{1,2,3,4,8}、古川 美之^{1,5}、土屋 綾子^{1,5,6}、小林 海³、小柴 孝子¹、佐々木 剛^{7,8}、新津 富央^{4,8}、清水 栄司^{1,3,5}

¹千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、²千葉大学国際未来教育基幹、

³千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、⁴千葉大学医学部附属病院精神神経科、

⁵大阪大学大学院連合小児発達学研究科千葉校、⁶城西国際大学看護学部、

⁷千葉大学医学部附属病院こどものこころの診療部、⁸千葉大学大学院医学研究院精神医学教室

3-OS31-5

当院におけるストーカー加害者診療の取り組み

○樋口 早子¹、竹田 康二¹、鈴木 敬生²、島田 隆生²、近藤 忠之¹、飯野 新³、平林 直次¹

¹国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、²国立精神・神経医療研究センター病院臨床心理部、

³国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

13:20~14:20 一般演題（口演）32 摂食障害

司会：稲野 秀 医療法人山陽会長門一ノ宮病院

3-OS32-1

*重症遷延性神経性やせ症（SE-AN）患者の1年間の治療経過と背景因子の検討

○藤原 翔太郎、石田 琢人、水野 雅文

東京都立松沢病院

3-OS32-2

摂食障害入院治療における弁証法的行動療法マインドフルネスの作用と1年後の転帰

○米良 貴嗣

翠会ヘルスグループ八幡厚生病院

3-OS32-3

成人重度神経性やせ症の母子愛着と1年後の病理改善の関連性：縦断的前向きコホート研究での傾向スコア分析

○宗 未来^{1,6}、小杉 良子¹、濱中 禎子²、大森 美湖³、浅井 京子⁴、橋本 空⁵、利重 裕子⁶、白石 直⁶、吉田 結美⁷、西園マールハ 文⁸

¹東京歯科大学市川総合病院、²濱中禎子心理教室、³東京学芸大学、⁴元当事者家族、

⁵ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社、⁶名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、

⁷自由が丘高木クリニック、⁸明治学院大学

3-OS32-4

「入院するくらいなら死にます」と言っていた摂食障害・自閉スペクトラム症の女性が任意入院するまで

○大須賀 英理¹、岡田 知子²、須田 真史¹、神出 誠一郎¹

¹群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学分野、²群馬大学医学部附属病院患者支援センター

3-OS32-5

慢性化した神経性やせ症の1例

○朴 盛弘、木山 典子、板倉 征史

松江市立病院

14:20～15:00 一般演題（口演）33
精神科における性の問題

司会：康 純 関西大学保健管理センター

3-OS33-1 精神科外来における性機能に関する悩みの相談状況と相談を躊躇する要因

○翠川 晴彦¹、古城 公佑²、松田 高明³、末富 崇弘^{2,4}、田中 隆造^{2,5}、高橋 智之⁶、安部 秀三⁷、
高尾 哲也⁸、佐藤 晋爾⁹、新井 哲明¹⁰

¹筑波大学附属病院精神神経科、²筑波大学医学医療系腎泌尿器外科、³筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科、
⁴茨城西南医療センター病院泌尿器科、⁵筑波学園病院泌尿器科、⁶医療法人社団有朋会こころのクリニック水戸、
⁷医療法人社団有朋会栗田病院、⁸医療法人イブシロン水戸メンタルクリニック、⁹筑波記念病院精神科、
¹⁰筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

3-OS33-2 アンコンシャス・バイアスが男性Intimate Partner Violence（IPV）被害者の援助要請行動に及ぼす影響

○森下 順子、稲川 優多、西依 康、須田 史朗
自治医科大学精神医学講座

3-OS33-3 生活史健忘と別人格の固定化のため、性別不合を訴えてホルモン療法を求める若年男性の一例

○酒井 慎太郎、熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

6月21日（土） J会場（神戸国際会議場 5F 505会議室）

8:30～9:30 一般演題（口演）34
ECT・TMS・ニューロモデュレーション

司会：山田 裕士 一般財団法人江原積善会積善病院精神科

3-OS34-1 肺炎を合併した昏迷患者への電気けいれん療法に関する後方視的研究

○大木 絵美梨、小林 憲司、石田 琢人、水野 雅文
東京都立松沢病院

3-OS34-2 ＊愛媛大学医学部附属病院における修正型電気けいれん療法の実施状況と有効な発作が得られているかの検討

○福本 俊太郎、吉野 祐太、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院・精神科

3-OS34-3 当院における深部静脈血栓症合併患者に対する電気けいれん療法の安全性の検討

○宮下 彰子、崎川 典子、林 直樹、石川 美加
東京武蔵野病院

3-OS34-4 統合失調症及び気分障害におけるDLPFCへのTMSで生じる電界の女性と年齢の優位性 - シミュレーション研究 -

○玉置 敦之¹、上西 真也^{1,2}、山田 信一¹、安田 香澄^{1,3}、喜多 奈津子¹、田畑 倫代^{1,5}、喜多 彬^{1,4}、
Yuki Mizutani-tiebel⁶、Daniel Keeser^{6,7,8}、Frank Padberg⁶、辻 富基美¹、紀本 創兵¹、高橋 隼^{1,9,10}
¹和歌山県立医科大学神経精神医学教室、²医療法人爽神堂七山病院、³医療法人聖和錦秀会阪和いずみ病院、
⁴ひだか病院、⁵国保野上厚生総合病院、⁶ミュンヘン大学精神科・心理療科、⁷ミュンヘン大学放射線科、
⁸ミュンヘン神経科学センター-脳と心-、⁹大阪大学医学部附属病院神経科精神科、¹⁰公益財団法人浅香山病院



3-OS34-5

治療抵抗性うつ病におけるrTMS- SSRI/SNRI併用療法ごとの寛解率の差異と背景因子

○山田 洸大¹、小高 文聰^{1,2}、松田 勇紀^{1,3}、山崎 龍一¹、林 大祐²、五十嵐 俊²、中澤 亜美¹、
垂石 七星¹、森 啓輔¹、鬼頭 伸輔¹

¹慈恵会医科大学、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、³藤田医科大学医学部臨床研究・開発教育学

9:30~10:30

一般演題（口演） 35

てんかん・ECT

司会：飯田 仁志

福岡大学医学部精神医学教室

3-OS35-1

*** 焦点てんかん発症とともに出現し発作抑制と共に消失した強迫症の一例**

○丸山 泰^{1,2}、西田 拓司¹、川口 典彦¹、上田 裕一¹、村松 良一¹、今井 克美¹

¹国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター、

²名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心理学分野

3-OS35-2

非けいれん性てんかん重積状態を呈し高齢発症した側頭葉てんかんの1例

○大竹 眞央、谷口 豪、加藤 英生、斉藤 聡志、梅田 真洋、高橋 恵理矢、中田 千尋、中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院

3-OS35-3

性格異常と言われ続けた器質性躁病性障害の一例

○長谷川 茉莉、梶原 眞理、佐藤 真耶、大治 太郎

聖ルチア病院

3-OS35-4

*** 化学療法を契機に発症した難治性の急性精神病に対し、修正型電気けいれん療法を行い改善した一例**

○櫻井 麻里、新武 諒亮、河合 三穂子

愛知医科大学病院

3-OS35-5

*** Wilson病の精神症状が電気痙攣療法で速やかに改善した1例**

○古川 元春、守田 未来、鈴木 伸哉、佐藤 謙伍、須田 史朗

自治医科大学附属病院

10:45~11:35

一般演題（口演） 36

English Session 1

Chairperson : Yuta Yoshino

Department of Neuropsychiatry, Ehime University Graduate School of Medicine

3-OS36-1

ICoRIPI Study Protocol: School Bullying Prevention and Intervention in Six Nations

○Ekachaeryanti Zain¹、Atsunori Sugimoto^{2,3}、Hiroyuki Kasahara^{2,3}、Masaya Ootake¹、
Kiyohiro Yoshinaga¹、Faisal B. P. Parawansa¹、Gniewko Wieckiewicz⁴、
Joanna Smolarczyk⁴、Emmanuel A. Essien⁵、Ching-hua J. Lee⁶、Rwanda Gaffaz⁷、
Isa M. Noor⁸、Novi A. Rahmawati⁹、Andi J. Tanra¹⁰、Jun Egawa¹

¹Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata,

²Department of Community Psychiatric Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, ³Niigata Psychiatric Center, Nagaoka, ⁴Medical University of Silesia, Katowice,

⁵Federal Neuropsychiatric Hospital, Calabar, ⁶Tsao-Tun Psychiatric Center, Nan-Tou,

⁷Al-Razi Psychiatric Hospital, Tripoli,

⁸Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, YARSI University, Jakarta, ⁹Gambiran Hospital, Kediri,

¹⁰Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Hasanuddin University, Makassar

3-OS36-2

Risk of mortality and complications in people with depressive disorder and diabetes mellitus

○Matthew Tsz Ho Ho^{1,2}, Joe Kwun Nam Chan¹, Heidi Ka Ying Lo¹, Catherine Zhiqian Fang¹, Corine Sau Man Wong³, Krystal Chi Kei Lee¹, Francisco Tsz Tsun Lai^{4,5,6,7}, Amy Pui Pui Ng⁵, Ken Qingqi Chen⁵, William Chi Wai Wong⁵, Wing Chung Chang^{1,8}

¹Department of Psychiatry, School of Clinical Medicine, LKS Faculty of Medicine, University of Hong Kong,

²Department of Psychiatry, United Christian Hospital,

³School of Public Health, LKS Faculty of Medicine, University of Hong Kong,

⁴Centre for Safe Medication Practice and Research, Department of Pharmacology and Pharmacy, LKS Faculty of Medicine, University of Hong Kong,

⁵Department of Family Medicine and Primary Care, School of Clinical Medicine, LKS Faculty of Medicine, University of Hong Kong, ⁶Laboratory of Data Discovery for Health (D24H), Hong Kong Science Park, Sha Tin,

⁷Advanced Data Analytics for Medical Science (ADAMS) Limited,

⁸State Key Laboratory of Brain & Cognitive Sciences, University of Hong Kong

3-OS36-3

Risk of mortality and complications in patients with severe mental illness and diabetes mellitus

○Matthew Tsz Ho Ho^{1,2}, Joe Kwun Nam Chan², Will Chi Yuen Chiu¹, Lucy Lo Wah Tsang¹, Kenneth Shut Wah Chan¹, Mimi Mei Cheung Wong¹, Ho Hon Wong¹, Pui Fai Pang¹, Wing Chung Chang^{2,3}

¹Department of Psychiatry, United Christian Hospital,

²Department of Psychiatry, School of Clinical Medicine, LKS Faculty of Medicine, University of Hong Kong,

³State Key Laboratory of Brain & Cognitive Sciences, University of Hong Kong

3-OS36-4

Risk Factors of Female Survivors of Intimate Partner Violence at a Tertiary Hospital: A Chart Review

○Armaine Bel V. Santos

University of the Philippines - Philippine General Hospital

11:45~12:45 一般演題 (口演) 37 English Session 2

Chairperson : Shinichiro Ochi Department of Neuropsychiatry, Molecules and Function, Ehime University Graduate School of Medicine

3-OS37-1

Knowledge and Attitudes on Electroconvulsive Therapy Among Psychiatric Trainees in the Philippines

○Paola Patricia V. Quidlat, Michael P. Sionzon

Department of Psychiatry and Behavioral Medicine, University of the Philippines-Philippine General Hospital

3-OS37-2

Relationship Between Filipino Personality Traits and Depression, Anxiety, Stress of Medical Students

○Earl Marvin P. Balanag, Maria Arla Andrea Carasco

Philippine General Hospital, University of the Philippines Manila

3-OS37-3

Emotional Intelligence and Psychological Distress in Selected UP College of Medicine Students

○Mario Lorenzo L. Bautista, Josefina T. Ly-uson

Department of Psychiatry and Behavioral Medicine, University of the Philippines - Philippine General Hospital

3-OS37-4

Unlocking Grief and Communication: The Impact of a Card Game on Medical Students

○Thagoon Kanjanopas

Department of Internal Medicine, Hatyai Hospital

3-OS37-5

Suicide rate changes in the COVID-19 era: A worldwide look and lessons learned

○Tyler R. Black

University of British Columbia



6月21日(土) K会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽1)

8:30~10:30

シンポジウム 119

児童青年精神医学キャリア・カフェ -寄附講座としての児童精神医学の研究や臨床・教育の在り方を検討する-

司会：小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学
辻井 農重 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座

SY119-1

北海道大学病院子どものこころと発達センターにおける児童精神科研修の取り組み

○大島 由季代、須山 聡、齊藤 卓弥
北海道大学病院子どものこころと発達センター

SY119-2

長野県の委託による信州大学の「発達障がい診療人材育成事業」

○本田 秀夫^{1,2,3}
¹信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、²信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、³長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」

SY119-3

相模原市寄附講座「地域児童精神科医療学」について

○神谷 俊介
北里大学医学部精神科学相模原市寄附講座「地域児童精神科医療学」

SY119-4

児童青年精神医学講座の活動について

○高貝 就
浜松医科大学児童青年期精神医学講座

SY119-5

名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センターの取り組みー病院内にとどまらない神経発達症医療の実践ー

○山田 敦朗^{1,2}
¹名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座、²名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センター

SY119-6

富山県における児童精神科医としてのキャリア

○辻井 農重¹、平岩 明子^{1,2}
¹富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、²富山大学医学部小児科学教室

SY119-7

福井大学で児童精神の臨床と研究を实践しましょう

○小坂 浩隆^{1,2}
¹福井大学医学部精神医学、²福井大学子どものこころの発達研究センター

SY119-8

高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学における児童精神医学の研究や臨床・教育

○高橋 秀俊
高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学

SY119-9

愛媛大学児童精神医学講座の設立と今後の展望

○河邊 憲太郎、堀内 史枝
愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座

SY119-10

長崎大学医学部精神神経科学教室における児童精神科医の育成

○熊崎 博一
長崎大学医学部精神神経科学教室

〈メインコーディネーター〉 小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学
〈サブコーディネーター〉 本田 秀夫 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室
熊崎 博一 長崎大学医学部精神神経科学教室

10:45～12:45 シンポジウム 120

てんかん診療実践の現在：最新用語改訂から薬物治療・外科治療の実際まで

司会：曾根 大地 東京慈恵会医科大学
西田 拓司 静岡てんかん・神経医療センター

SY120-1 てんかん・てんかん発作型・てんかん症候群に関する国際分類・定義・用語 update

○日暮 憲道
武蔵小杉小児科・てんかんクリニック

SY120-2 てんかんの薬物治療アップデート

○西田 拓司
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

SY120-3 幅広い年齢層と多様なライフイベントを意識したてんかん診療

○曾根 大地
東京慈恵会医科大学

SY120-4 てんかん外科の現状と実践

○池谷 直樹
横浜市立大学医学部脳神経外科学

〈メインコーディネーター〉 曾根 大地 東京慈恵会医科大学
〈サブコーディネーター〉 西田 拓司 静岡てんかん・神経医療センター

14:00～15:00 市民公開講座

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

OL 同調圧力とエンパシー

○鴻上 尚史
愛媛県出身、作家・演出家



6月21日(土) L会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽2)

8:30～10:30 シンポジウム 121

認知症家族介護者の過度な感情表出に対する感情支援介入について考える

司会：繁信 和恵 公益財団法人浅香山病院

SY121-1 認知症の感情表出—EE評価と高EEの要因分析の有用性と課題

○上村 直人
高知大学保健管理センター医学部分室

SY121-2 認知症患者に対する家族介護者の感情表出に関する認識と家族支援プログラムの開発

○山川 みやえ^{1,6}、劉 曉吉¹、金谷 玲子¹、瀧上 恵吾²、日比 彩子¹、佐々木 早苗³、平池 直樹⁵、
山口 浩二⁴、竹屋 泰¹、繁信 和恵^{1,6}

¹大阪大学、²浜松医科大学、³なな－る訪問看護ステーション、⁴亥の子の里ケアプランセンター、
⁵NPO法人ライフサポートりぼん、⁶公益財団法人浅香山病院



SY121-3

認知症家族における感情表出の縦断的評価:理解と支援のための新たな視点

○劉 暁吉¹、山川 みやえ¹、日比 彩子¹、金谷 玲子^{1,3}、勝眞 久美子³、瀧上 恵吾⁴、繁信 和恵²、竹屋 泰¹

¹大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座、

²大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学、³なな一訪問看護ディベロップメントセンター、

⁴岐阜大学大学院医学系研究科看護学講座

SY121-4

認知症の人と家族介護者の心理・社会的な支援の仕組み作りを考える

○山中 克夫

筑波大学人間系

SY121-5

認知症家族介護者の感情に寄り添うケアマネジメントの実践

○山口 浩司

社会福祉法人こばと会いのこの里ケアプランセンター

〈メインコーディネーター〉 繁信 和恵 公益財団法人浅香山病院

10:45~12:45

シンポジウム 122 (自殺予防に関する委員会)

自殺未遂者の様々な支援手法の発展:ACTION-Jを超えて

司会: 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター

張 賢徳 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

SY122-1

過量服薬や自傷に対する短期介入手法の検討

○翠川 晴彦

筑波大学附属病院精神神経科

SY122-2

思春期年代の自殺未遂者への支援

○成重 竜一郎

日本医科大学精神医学教室

SY122-3

高知県における自殺未遂者支援-精神科医療と行政・救急との連携

○澤田 健、中村 朔也、山本 大介、北代 晶帆、船越 祥子、土田 亜希、永野 志歩

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

SY122-4

わが国の自殺対策における ACTION-J 研究の意義

○河西 千秋

札幌医科大学

〈メインコーディネーター〉 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター

〈サブコーディネーター〉 張 賢徳 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:20~15:20

シンポジウム 123

神経発達症におけるピアサポート~医療と自助活動との接点を探る

司会: 太田 晴久 昭和医科大学発達障害医療研究所

安田 由華 医療法人フォスター

SY123-1

神経発達症のピアサポート概論

○太田 晴久

昭和医科大学発達障害医療研究所

SY123-2

発達障害専門プログラムの実践

○安田 由華^{1,2,3}、片山 直毅¹、加藤 史織¹、山口 望美¹

¹医療法人フォスター生きたる育む輝くメンタルクリニック、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、³大阪精神科診療所協会

SY123-3

余暇活動を介した思春期の神経発達症当事者のピアサポート

○本田 秀夫^{1,2,3}

¹信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、²信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、³長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」

SY123-4

自助グループと病院の連携（自助グループ頼りの依存症専門病院の立場から）

○常岡 俊昭

昭和医科大学烏山病院

SY123-5

成人期の発達障害（神経発達症）のピアサポートとセルフヘルプグループ～現状と医療との連携の可能性～

○広野 ゆい

特定非営利活動法人DDAC(発達障害をもつ大人の会)

〔指定発言者〕

市川 宏伸

日本自閉症協会／日本発達障害ネットワーク

〔指定発言者〕

加藤 進昌

公益財団法人神経研究所附属晴和病院

〈メインコーディネーター〉 太田 晴久

昭和医科大学発達障害医療研究所

〈サブコーディネーター〉 安田 由華

医療法人フォスター

6月21日(土) M会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 偕楽3)

8:30～10:30

シンポジウム 124

精神医学の充実・発展のためのポジティブ精神医学の役割 最近のポジティブ精神医学の動向

司会：須賀 英道

龍谷大学

佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

SY124-1

健康な高齢化に対するポジティブ老年心理学的貢献

○岩原 昭彦

京都女子大学心理共生学部

SY124-2

ポジティブ精神医学のコンセプトを活用した臨床的な考え方と今後の発展性について

○菊地 俊暁

慶應義塾大学

SY124-3

ポジティブ精神医学の世界の動向

○松隈 信一郎

フィリピン大学ディリマン校心理学部



SY124-4

精神医学におけるポジティブ精神医学の貢献とその可能性

○片山 奈理子

慶應義塾大学精神・神経科学教室

〔指定発言者〕

大野 裕

大野研究所

〈メインコーディネーター〉 須賀 英道

龍谷大学

〈サブコーディネーター〉 佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル

大野 裕

大野研究所

10:45～12:45

シンポジウム 125

〔精神障害にも対応した地域包括ケアシステム〕を支える精神科病院の役割

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

SY125-1

精神科病院が地域精神保健の担い手となるために取り組むべき課題とは何か？

○智田 文徳、鈴木 りほ、佐々木 浩行、田嶋 宣行

社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院

SY125-2

地域づくりと精神科病院

○坪内 健

社会医療法人正光会松ヶ丘病院

SY125-3

地域共生社会の実現と精神科病院の経営を両立するための南飯能病院の取り組み

○角田 健一

南飯能病院

SY125-4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築における精神科病院との連携の実際と精神科医療への期待

○山本 賢^{1,2}

¹飯能市福祉部障害福祉課、²全国精神保健福祉相談員会

〔指定発言者〕

野口 正行

岡山県精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

〈サブコーディネーター〉 藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

野口 正行

岡山県精神保健福祉センター

13:20～15:20

シンポジウム 126

病院内の入院患者の自殺事故予防の取り組み

司会：張 賢徳

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

河西 千秋

札幌医科大学

SY126-1

入院患者の自殺事故予防の取り組みと研修事業の背景と経緯

○河西 千秋¹、小山 達也²、成田 賢治¹、津山 雄亮¹、大塚 耕太郎³

¹札幌医科大学、²学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院、³岩手医科大学医学部神経精神科学講座

SY126-2 埼玉医科大学国際医療センターにおける院内自殺予防対策—全例スクリーニングから精神科専門治療まで—
○大西 秀樹
埼玉医科大学国際医療センター

SY126-3 日本自殺予防学会主催で行う病院内の自殺予防に関する医療安全の研修会のプログラムについて
○大塚 耕太郎
岩手医科大学医学部神経精神科学講座

〈メインコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学
〈サブコーディネーター〉 張 賢徳 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

6月21日(土) N会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 和楽)

8:30~10:10 ワークショップ 15 (司法精神医学研修委員会) そこが知りたい! 精神鑑定2

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
中岡 健太郎 愛知県精神医療センター

WS15 〈講演者〉 永田 貴子 横浜市こころの健康相談センター
五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門
村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神・神経科／日本うつ病センター六番町メンタルクリニック
今井 淳司 東京都立松沢病院
竹田 康二 国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部
渡辺 杏里 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
〈メインコーディネーター〉 今井 淳司 東京都立松沢病院
〈サブコーディネーター〉 山口 大樹 東邦大学医学部医学科精神神経医学講座

10:45~12:25 ワークショップ 16 モーズレイ式神経性やせ症治療(MANTRA)ワークショップ

司会：中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学
友竹 正人 徳島大学大学院医歯薬学研究部メンタルヘルス支援学分野

WS16 〈講演者〉 友竹 正人 徳島大学大学院医歯薬学研究部メンタルヘルス支援学分野
中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学
水原 祐起 みずはらクリニック／認定NPO法人SEEDきょうと
沼田 法子 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学
〈メインコーディネーター〉 水原 祐起 みずはらクリニック／認定NPO法人SEEDきょうと



13:20～15:00 **ワークショップ 17 (認知症委員会)**
精神科医のためのアミロイド抗体薬投与の実際

司会：品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座
色本 涼 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

WS17 〈講演者〉 品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座
橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室
数井 裕光 高知大学医学部神経精神科学講座
末廣 聖 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

〔指定発言者〕 池田 学 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 池田 学 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

6月21日(土) O会場(神戸ポートピアホテル 本館 B1F 生田)

8:30～10:30 **シンポジウム 127 (薬事委員会)**
向精神薬の副作用のリスク・シェアリングについて

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経医学教室
古郡 規雄 獨協医科大学

SY127-1 **臨床場面における副作用の説明とモニタリングの意義**

○稲田 健
北里大学医学部精神科学

SY127-2 **リスペリドン初回投与時のリスク・シェアリング：副作用リスクの説明に関する実情**

○稲垣 中
青山学院大学

SY127-3 **リスペリドン初回投与時のリスク・シェアリング：副作用モニタリングの実情**

○富田 哲
弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

SY127-4 **向精神薬の副作用のリスク・シェアリングについての双方向性のリアルタイム合意形成**

○橋本 亮太
国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学
〈サブコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経医学教室
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

10:45～12:45 シンポジウム 128

精神疾患患者の身体合併症治療における臨床倫理の現在地

司会：根本 康 さいたま市立病院精神科
光定 博生 国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院

SY128-1 身体合併症の治療を行うまでのプロセス

○根本 康
さいたま市立病院精神科

SY128-2 精神疾患患者の身体疾患治療方針決定における精神科医のもう一つの役割

○石田 琢人
東京都立病院機構都立松沢病院

SY128-3 医療に関する意思と正当業務性

○池原 毅和
東京アドヴォカシー法律事務所

SY128-4 精神疾患患者の身体合併症治療における倫理的考察と倫理支援

○瀧本 禎之
神戸大学医学部附属病院医療の質・安全管理部

〈メインコーディネーター〉 根本 康 さいたま市立病院精神科
〈サブコーディネーター〉 石田 琢人 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院

13:20～15:20 シンポジウム 129

新しい概念である、難治性うつ病(DTD)の紹介、そして克服のための医療システム構築を目指して

司会：高江洲 義和 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座
坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経医学教室

SY129-1 難治性うつ病：Treatment Resistant Depression (TRD) から Difficult-to-Treat depression (DTD) へ

○中川 敦夫
聖マリアンナ医科大学

SY129-2 わが国における難治性うつ病の実態

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室

SY129-3 難治性うつを多角的に捉えることから、より良いアプローチについて考える

○栗原 真理子、大江 悠樹
杏林大学医学部精神神経科学教室

SY129-4 難治性うつ病の検査入院を経て感じたこと（当事者からのご発言）

○椎名 敬一
当事者

SY129-5 難治性うつ病（DTD）を適切に評価するための医療システムを考える

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部



〔指定発言者〕

Reopa ゆま

ReOPA

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

6月21日(土) P会場(神戸国際展示場 1号館 2F 展示室A)

8:30~10:30

シンポジウム 130

産業医学研修会対象セッション

産業メンタルヘルス現場での発達障害をもつ社員への対応をよりよくするには

司会：高橋 恵

北里大学医学部精神科

田中 克俊

北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学

SY130-1

産業医の立場からみた発達障害

○南雲 智子

富士通株式会社健康推進本部

SY130-2

発達障害外来での就労支援～デイケアの活用を含め

○太田 晴久

昭和医科大学発達障害医療研究所

SY130-3

成人の発達障害一街のクリニックでの対応ー

○木代 眞樹

きしろメンタルクリニック

SY130-4

復職支援施設からの実践報告ー精神科デイケア、就労継続B型事業所、就労移行支援事業所のいまー

○時田 陽介

医療法人社団宙麦会ひだクリニックお台場

〈メインコーディネーター〉 高橋 恵

北里大学医学部精神科

〈サブコーディネーター〉 田中 克俊

北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学

6月21日(土) Q会場(神戸国際展示場 1号館 2F 展示室B)

8:30~10:30

シンポジウム 131 (認知症委員会)

疾患修飾薬時代の認知症医療：精神科の果たす役割は？

司会：池田 学

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

相澤 明憲

特定医療法人佐藤会弓削病院

SY131-1

新時代の時代の認知症医療ー課題と展望ー

○池田 学

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

SY131-2

認知症治療における精神科医の役割再考

○田口 真源

大垣病院

SY131-3 認知症抗体医薬の登場によって地域連携は変化していくのか? : 都市部の状況

○井藤 佳恵
東京都健康長寿医療センター研究所

SY131-4 超早期の告知と pre-caregiver

○和氣 大成^{1,2}
¹聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

SY131-5 認知症の Prodromal 期における精神症状

○鐘本 英輝¹、池田 学²
¹大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター、²大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

〈メインコーディネーター〉 池田 学 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

**13:20~15:20 シンポジウム 132 (医療 DX に関する委員会)
精神科領域における医療 DX の可能性**

司会：稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部
吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

SY132-1 閾値下うつに対するスマートフォン認知行動療法の最適化研究 (RESILIENT 試験) の概要

○田近 亜蘭¹、古川 寿亮²、豊本 莉恵¹、坂田 昌嗣³、羅 妍¹、堀越 勝⁴、明智 龍男⁵、川上 憲人⁶、
中山 健夫¹、近藤 尚己¹、福岡 真悟¹、野間 久史⁷

¹京都大学大学院医学研究科、²京都大学成長戦略本部、³名古屋市立大学医学研究科こころの発達医学寄附講座、
⁴武蔵野大学、⁵名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、
⁶東京大学大学院医学研究科社会連携講座デジタルメンタルヘルス講座、⁷統計数理研究所

SY132-2 精神科領域における診断支援を目的とした Software as a medical device (SaMD) 開発の現状

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

SY132-3 精神科医療 DX におけるメタバース活用の実装と課題：実証研究に基づく臨床応用への展望

○藤田 純一
横浜市立大学附属病院

SY132-4 精神科医療の未来を拓く：脳情報に基づく客観的診断・層別化

○酒井 雄希^{1,2}
¹ATR 脳情報通信総合研究所、²株式会社 XNef

SY132-5 精神科領域におけるプログラム医療機器の開発と実用化 ―飲酒量低減治療補助アプリの開発経験から―

○宋 龍平^{1,2}
¹岡山県精神科医療センター、²株式会社 CureApp

〈メインコーディネーター〉 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター
〈サブコーディネーター〉 木下 翔太郎 慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター／東京大学大学院学際情報学府



6月21日(土) ポスター会場(神戸国際展示場 1号館 1F 展示室)

8:30~9:20 一般演題(ポスター) 17 神経症

司会: 大原 伸騎 高知医療センターこころのサポートセンター児童精神科

- 3-P17-1** *入院を契機に発達特性に配慮した環境調整や生活支援を行なった自閉スペクトラム症を併存した強迫症の一例
○水杉 ゆり恵、田中 悠大、林 佳樹、荻野 俊、向井 馨一郎、林田 和久、松永 寿人
兵庫医科大学
- 3-P17-2** *失禁、食事摂取の困難を伴う強迫性緩慢に行動療法とフルボキサミン、アリピプラゾールの併用が著効した症例
○春本 克太¹、藤内 拳士郎¹、魚谷 和史¹、石山 雄大^{1,2}、松浦 広樹^{1,3}、紀本 創兵¹
¹和歌山県立医科大学神経精神医学教室、²岩手医科大学医学部神経精神科学講座、³天理よろづ相談所病院白川分院
- 3-P17-3** ベンラファキシンの全般不安症患者を対象とした国内第3相無作為化プラセボ対照二重盲検試験
○大坪 天平¹、渡邊 衡一郎²、井上 猛³、稲垣 中⁴、菊地 俊暁⁵、野本 佳介⁶、比嘉 辰伍⁶、浅見 優子⁶、Bin Sun⁷、Kristina Marschell⁸
¹東京女子医科大学附属足立医療センター、²杏林大学医学部精神神経科学教室、³東京医科大学精神医学分野、⁴青山学院大学教育人間科学部／青山学院大学保健管理センター、⁵慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、⁶ヴィアトリス製薬合同会社メディカル・アフェアーズ統括部、⁷Viatris Inc.、⁸Meda Pharma GmbH&Co.KG (a Viatris company)
- 3-P17-4** 広汎心的外傷スクリーニング尺度 Japanese Global Psychotrauma Screen for teenagers の作成と妥当性の検討
○千葉 比呂美、大江 美佐里、小俵 京子、石田 哲也、松岡 美智子、小曾根 基裕
久留米大学医学部神経精神医学講座
- 3-P17-5** 神経発達症を伴う強迫症患者を対象とした神経免疫学的、分子生物学的研究
○櫻井 正彦、山西 恭輔、秦 正樹、飯島 華怜、横角 えりさ、細井 幸彦、荻野 俊、向井 馨一郎、林田 和久、松永 寿人
兵庫医科大学病院

8:30~9:30 一般演題(ポスター) 18 認知症、器質・症状性精神障害1

司会: 菅原 典夫 獨協医科大学精神神経医学講座

- 3-P18-1** うつ病で発症した嗜銀顆粒性認知症の2例: 臨床病理学的検討
○新保 裕希¹、橋本 学¹、高島 由紀¹、三好 紀子¹、辻 真里子¹、杠 岳文²
¹独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、²特定医療法人社団宗仁会筑後吉井こころホスピタル
- 3-P18-2** 幻覚妄想状態を呈した脳表ヘモジデリン沈着症の一例
○熊谷 亮
医療法人社団踏青会下総病院
- 3-P18-3** 特発性大脳基底核石灰化症による認知症と診断され、精神症状のため認知症病棟に入院を要した2例
○福田 俊生¹、千葉 悠平¹、浅見 剛²、加瀬 昭彦¹
¹横浜舞岡病院、²横浜市立大学大学院医学研究科精神医学教室

3-P18-4	*扁桃体病変を主とする自己免疫性辺縁系脳炎の表現型として治療抵抗性うつ病像を示した一例 ○佐藤 瑠衣¹、長岡 敦子¹、大場 雄太¹、小野 紘彦²、國井 泰人^{1,3,4}、富田 博秋^{1,3,4} ¹東北大学病院精神科、²東北大学病院脳神経内科、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、 ⁴東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野
3-P18-5	最遅発性統合失調症様精神病と診断した一症例について ○柳本 寛子^{1,2}、國芳 浩平¹、森田 喜一郎^{3,4}、小路 純央^{2,3}、小曾根 基裕^{2,3} ¹社会医療法人筑水会筑水会病院、²久留米大学医学部神経精神医学講座、³久留米大学高次脳疾患研究所、 ⁴特定医療法人社団相和会中村病院
3-P18-6	精神科専門病院と脳神経内科専門病院の連携が不可欠であった神経疾患の7例 ○林 健太郎^{1,3}、松村 謙¹、林 栄治⁴、島田 恵⁴、針間 博彦²、清水 俊夫³、高橋 一司⁴、水野 雅文² ¹地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院脳神経内科、 ²地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院精神科、 ³地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立神経病院脳神経内科、 ⁴地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院内科
9:30~10:30	一般演題（ポスター）19 発達障害 司会：戸田 裕之 防衛医科大学校精神科学講座
3-P19-1	*自閉スペクトラム症の患者に出現したカタトニアに対する電気けいれん療法の実施 ○小林 裕幸、竹内 祥貴、三浦 佑和、下田 和孝 栃木県立岡本台病院
3-P19-2	自閉スペクトラム症の感覚特性と時間情報処理の神経基盤：構造的および機能的指標からの検討 ○鹿内 友美¹、青木 隆太^{1,2,4}、板橋 貴史¹、清水 正彬³、直江 大河¹、沖村 宰¹、太田 晴久¹、 橋本 龍一郎^{1,4}、中村 元昭¹ ¹昭和医科大学、²京都大学、³東京科学大学、⁴東京都立大学
3-P19-3	ADOS-2を用いた自閉スペクトラム症の異種性の定量化 ○直江 大河¹、鹿内 友美¹、板橋 貴史¹、沖村 宰¹、橋本 龍一郎^{1,2}、太田 晴久¹、中村 元昭¹ ¹昭和医科大学、²東京都立大学
3-P19-4	成人発達障害における心理検査（IRI、SCI、TEG）の特徴・傾向について ○薬師川 陽一、中井 文香、佐々木 俊平、太田 晴久、真田 建史、岩波 明 昭和医科大学附属烏山病院
3-P19-5	発達障害外来の診断名について 前医との比較 ○中村 善文^{1,2}、太田 晴久^{2,3,4}、中村 元昭^{2,4}、沖村 宰^{2,4}、橘 知之²、山田 真里^{2,3}、中井 文香^{2,3}、 加藤 進昌²、岩波 明² ¹昭和医科大学横浜市北部病院、²昭和医科大学医学部精神医学教室、³昭和医科大学附属烏山病院、 ⁴昭和医科大学発達障害医療研究所
3-P19-6	成人発達障害の不安、抑うつ状態の検討 ○佐々木 俊平^{1,2}、中井 文香^{1,2}、薬師川 陽一^{1,2}、大橋 尊^{1,2}、武藤 奈奈²、ロンバート はるみ^{1,2}、 今村 薫奈²、内田 侑里香²、佐藤 里穂²、太田 晴久^{1,2,3}、真田 建史^{1,2} ¹昭和医科大学医学部精神医学教室、²昭和医科大学附属烏山病院、³昭和医科大学発達障害医療研究所



9:30~10:30

一般演題（ポスター） 20

English Session

Chairperson : Junichi Iga

Department of Neuropsychiatry, Ehime University Graduate School of Medicine

3-P20-1

Primary Diagnoses of Patients in a Female Psychiatric Ward at Institute of Mental Health Singapore

○ Zhenru Zhao

Institute of Mental Health

3-P20-2

Adjunctive atypical antipsychotics for major depressive disorder: a survey of healthcare providers

○ Daisuke Sekine¹, Dusica H. Boskovic², Ferhat Ardic³, Shivani Kapadia², Joe Hickey⁴, Kentaro Yamato¹

¹Otsuka Pharmaceutical Co.,Ltd., ²Otsuka America Pharmaceutical, Inc., ³H. Lundbeck A/S, ⁴OPEN Health

3-P20-3

Brain Activities Measurement using Magnetoencephalography in Patients with Internet Gaming Disorders

○ Faisal Budisasmita Paturungi Parawansa^{1,2}, Atsunori Sugimoto^{3,4}, Yukina Nakazawa⁵, Fuuta Sakuma⁵, Kiyohiro Yoshinaga⁶, Ekachaeryanti Zain¹, Wahyu Muhammad Dwi¹, Taichi Namba⁵, Hiroyuki Kasahara^{3,4}, Jun Egawa¹, Hiroshi Shirozu⁷, Atsuhiko Iijima^{5,8,9}, Toshiyuki Someya¹

¹Department of Psychiatry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences,

²Department of Neurology, Faculty of Medicine, Hasanuddin University,

³Department of Community Psychiatric Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ⁴Department of Psychiatry, Niigata Psychiatric Center,

⁵Human Sciences and Assistive Technology Course, Department of Electrical and Information Engineering, Niigata University Graduate School of Science and Technology,

⁶Department of Psychiatry, Niigata University Medical and Dental Hospital,

⁷Department of Functional Neurosurgery, NHO Nishiniigata Chuo Hospital,

⁸Interdisciplinary Program of Biomedical Engineering, Assistive Technology, and Art and Sports Sciences, Faculty of Engineering, Niigata University, ⁹School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Niigata University

3-P20-4

U.S. Adolescent Suicide Rates Following COVID-19

○ Linda V. Chen^{1,2,3,4}, Quynh Doan^{4,5}

¹Faculty of Medicine, University of British Columbia, Vancouver, BC, Canada,

²BC Mental Health and Substance Use Services, Vancouver, BC, Canada,

³Department of Bioinformatics, University of British Columbia, Vancouver, BC, Canada,

⁴BC Children's Hospital Research Institute, Vancouver BC, Canada,

⁵Department of Pediatrics, University of British Columbia, Vancouver, BC, Canada

3-P20-5

Prevalence of Depression and Suicidal Thoughts in Thai Elderly During COVID-19: A Population Survey

○ Pichai Ittasakul¹, Smuch Siramongkholkarn², Saran Thanaplueti Wong², Sirintorn Chansirikarnjana², Yossawat Suwanlikit³, Lee Wei. Jun⁴

¹Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Mahidol University,

²Division of Geriatric Medicine, Department of Medicine, Faculty of Medicine, Ramathibodi hospital, Mahidol University,

³Chakri Naruebodindra Medical Institute, Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University,

⁴Department of Internal Medicine, St Elizabeth's Medical Center

9:30～10:30 一般演題（ポスター）21
認知症、器質・症状性精神障害2

司会：武田 直也 十全ユリノキ病院

- 3-P21-1 後頭葉梗塞後に作話を伴う運動症状を呈した血管性軽度認知障害の一例
○高橋 恵理矢、林 大祐、千葉 俊彦、熊谷 航一郎、沖田 恭治、野田 隆政
国立精神・神経医療研究センター病院
- 3-P21-2 ゾテピンは認知症患者の社会的行動障害に有効か？—当院での症例報告による検討—
宮川 泰介、○佐藤 真耶、大治 太郎
社会医療法人聖ルチア会聖ルチア病院
- 3-P21-3 アルツハイマー型認知症に伴うアジテーションへのブレクスピプラゾールの効果：CMAIの項目別
Post hoc解析
○中村 祐¹、大澤 千尋²、清水 孝一²、柴崎 佳幸²、足立 淳³、廣田 直輝³、伊庭 克拓³、中井 正三²、
高橋 謙嘉²
¹香川大学医学部附属病院精神神経医学講座、²大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部、
³大塚製薬株式会社新薬開発本部
- 3-P21-4 認知症臨床からの提言：非経口製剤の認識方法の確立の重要性について
○鶴飼 克行、松井 千恵、加藤 貴代、安藤 舞香、小野 翔太郎
総合上飯田第一病院
- 3-P21-5 認知症サポートケアチームによる介入を受けた経験のある入院高齢者の臨床的特性と転帰に関する
探索的研究
○奥村 武則^{1,2}、芳野 弘^{1,2}、三田村 今日子²、荒木 遥菜²、岩田 美紘²、岡庭 圭佑²、加藤 滋代²、
加藤 ちなみ²、齋木 由佳²、須賀 賢介²、杉浦 晴美²、堀井 里奈²、安田 奈央²、武地 一^{1,2}
¹藤田医科大学病院認知症高齢診療科、²藤田医科大学病院認知症サポートケアチーム
- 3-P21-6 就労と認知症親族の介護を両立している者の心理的負担と生活習慣との関連
○松元 知美¹、池ノ内 篤子^{1,2}、大久保 直紀³、江口 尚⁴、藤野 善久³、吉村 玲児¹
¹産業医科大学医学部精神医学、²産業医科大学病院認知症センター、³産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学、
⁴産業医科大学産業生態科学研究所産業精神保健学

10:45～11:35 一般演題（ポスター）22
不眠症・発達障害

司会：宮川 晃一 順天堂大学医学部附属浦安病院メンタルクリニック

- 3-P22-1 当院の入院患者における10年間の睡眠薬処方の変化
○細田 千尋¹、吉橋 司¹、菅原 賢治¹、林 紀宏¹、足立 美美^{1,2}、夏目 智洋^{1,3}、永田 登美子¹、
加藤 南実¹、筒井 啓太¹、鈴木 徹也¹、田村 由江¹
¹更生保護法人鶴舞会飛鳥病院、²まめの木クリニック、³医療法人カメリア横浜カメリアホスピタル
- 3-P22-2 不眠に対する森田療法的アプローチ（Morita Therapy for Insomnia：MT-I）の提案
○酒井 祥行、石井 洵平、小高 文聰、森 啓輔、小林 珠代、松澤 友斗、天谷 美里、鬼頭 伸輔、
山寺 亘、館野 歩
東京慈恵会医科大学精神医学講座
- 3-P22-3 近赤外線スペクトロスコピィを用いた自閉スペクトラム症のStroop課題遂行時の前頭前野血液動態
反応
○神川 浩平^{1,3}、山室 和彦^{1,2}、水井 亮¹、柏田 夏子¹、石田 理緒^{1,4,5}、岡田 俊¹、岩田 伸生⁴、
牧之段 学^{1,4,5}
¹奈良県立医科大学精神医学講座、²奈良県立医科大学健康管理センター、³奈良県総合医療センター精神科、
⁴藤田医科大学精神神経学講座、⁵藤田医科大学精神・神経病態解明センター変革融合精神医学部門



3-P22-4

成人発達障害検査入院における患者背景や診断、心理検査結果の検討

○中井 文香^{1,2}、薬師川 陽一^{1,2}、佐々木 俊平^{1,2}、大橋 尊^{1,2}、武藤 奈奈²、ロンバート はるみ²、
今村 薫奈²、内田 侑里香²、佐藤 里穂²、太田 晴久^{1,2,3}、真田 建史^{1,2}

¹昭和医科大学医学部精神医学教室、²昭和医科大学附属鳥山病院、³昭和医科大学発達障害医療研究所

3-P22-5

***発達障害患者における家族機能が災害時の家族関係に及ぼす影響～能登半島地震を通じて～**

○高山 英也、藤田 宗久、角谷 陽平、大田垣 昂、谷口 園子、米本 智美、関 美美、松田 文恵、
山本 裕美子、榎戸 美佐子、谷野 亮一郎

医療法人社団和敬会谷野山病院

10:45～11:45 **一般演題（ポスター）23**

認知症、器質・症状性精神障害3

司会：角 徳文 香川大学大学院医学系研究科

3-P23-1

***当院睡眠外来を受診しレム睡眠行動異常症と診断されたが、後に多系統萎縮症を発症した一例**

○横内 崇人、佐野 祥子、岩澤 仁、熊取谷 知征、吉川 陽子、田村 和世、仲里 伸、大神 瑛文、
山下 雄生、黒田 健治

医療法人杏和会阪南病院

3-P23-2

***ステロイド精神症状を治療した患者において、ステロイド減量後に抗精神病薬の減量によって症状再燃した症例**

○渡辺 博昭、三上 智子、佐々木 健至、溝口 幸佑、下川 哲郎、原川 哲、近藤 有希、濱木 周平
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立墨東病院

3-P23-3

抗NMDA受容体脳炎を背景とした緊張病においてASLで側頭葉の血流増加が認められた一例

○中井 大貴¹、清水 勇雄¹、日高 瑛太郎¹、大野 由梨¹、魚住 広之¹、岩井 祐介¹、門間 太作¹、
岩澤 仁¹、河野 譲二¹、横田 伸吾¹、小林 潤也²、櫻井 玲²、村田 篤哉²、黒田 健治¹

¹医療法人杏和会阪南病院、²地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター

3-P23-4

***Fabry病による脳血管障害に伴う精神症状をきたし自殺企図した一例**

○藤田 裕加里¹、服部 早紀¹、永露 毅¹、宮内 雅利¹、須田 顕²、野本 宗孝¹、浅見 剛^{1,2}

¹横浜市立大学医学部附属病院、²横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

3-P23-5

地域在住の高齢者におけるオキシトシンとS100Bの関連

○折橋 隆三^{1,2}、藤野 成美¹、古賀 明美¹、溝口 義人²

¹佐賀大学医学部看護学科、²佐賀大学医学部精神医学講座

3-P23-6

新聞媒体への日常的な接触が脳機能へ与える影響について<共同研究>

○佐藤 守¹、音琴 佐和子^{1,2}、田崎 行範³、郷六 振一郎³、京田 綾子³、吉村 絵美^{1,2}、児玉 英也^{1,2,4}、
森田 喜一郎^{2,5}、小路 純央^{1,2}

¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²久留米大学高次脳疾患研究所、

³株式会社西日本新聞社データマーケティング部、⁴医療法人社団芳英会宮の陣病院、

⁵特定医療法人社団相和会中村病院

11:45～12:35 **一般演題（ポスター）24**

てんかん

司会：堀之内 徹 北海道大学病院精神科神経科

3-P24-1

***レビー小体型認知症にてんかん発作が併発し、精神症状との鑑別が困難であった一例**

○小池 直人、吉浜 淳、松田 ひろし

柏崎厚生病院

3-P24-2 *抗うつ薬によるNCSEが生じた強迫性障害の治療例

○清水 沙織里、中田 千尋、沖田 恭治、谷口 豪
国立精神神経医療研究センター

3-P24-3 *電気けいれん療法が有効であったてんかん精神病の一例

○前田 卓吾¹、渡邊 純¹、飯沢 美文¹、鈴木 一浩^{1,2}、鷲塚 伸介^{1,2}
¹信州大学医学部精神医学教室、²信州大学医学部地域精神医療学講座

3-P24-4 心因性非てんかん発作が疑われたが、長時間ビデオ脳波によりてんかん発作が明らかとなった1例

○増本 政也、向笠 廣太、千葉 比呂美、安元 眞吾、本岡 大道、小曾根 基裕
久留米大学医学部神経精神医学教室

3-P24-5 現在のてんかん概念批判

○鶴飼 克行¹、渡辺 雅子²
¹総合上飯田第一病院、²新宿神経クリニック

11:45~12:45 一般演題（ポスター） 25
児童・思春期精神障害

司会：梅原 英裕 徳島大学キャンパスライフ健康支援センターアクセシビリティ支援部門

3-P25-1 神経性無食欲症の加療中に統合失調症を発症し食行動異常が消退した一例

○鈴木 悠平、佐藤 亜希子、宍戸 理紗、森 湧平、板垣 俊太郎、三浦 至
福島県立医科大学附属病院

3-P25-2 訪問看護が関わる子どもに対するシーティング支援の効果の評価：保護者に対するアンケート調査の結果

○岸本 真希子¹、関戸 雄貴¹、梶原 厚子^{2,3}、辻 悦子^{2,3}、川島 瞳²、畔上 英子²
¹国立成育医療研究センター、²株式会社スペースなる Tamaステーションなる訪問看護事業、
³株式会社スペースなる福祉用具等作製業者なるのいす屋さん

3-P25-3 子供の心理社会的発達に母親の強迫症症状、特に巻き込み行為が及ぼす影響に関する多角的検討

○荻野 俊、細井 幸彦、櫻井 正彦、横角 えりさ、飯島 華怜、向井 馨一郎、林田 和久、
松永 寿人
兵庫医科大学精神科神経科学講座

3-P25-4 小児および青年における自閉スペクトラム症の健康関連QOLに対する自尊感情の影響

○池原 実伸¹、山室 和彦^{1,2}、柏田 夏子¹、石田 理緒^{1,3,4}、水井 亮¹、牧之段 学^{1,3,4}、岡田 俊¹
¹公立大学法人奈良県立医科大学精神医学講座、²奈良県立医科大学健康管理センター、
³藤田医科大学医学部精神医学教室、⁴藤田医科大学精神・神経病態解明センター変革融合精神医学部門

3-P25-5 大規模レセプトデータベースを用いた国内における注意欠如・多動症治療薬の処方実態

○鈴木 龍太郎^{1,2,3,4}、三好 拓海⁴、田中 潤星⁴、熊澤 良祐⁴、西川 大曜^{1,2}、村岡 寛之¹、赤沢 学⁴、
稲田 健^{1,3}
¹北里大学医学部精神科学教室、²北里大学大学院医療系研究科、³北里大学医学部地域児童精神科医療学、
⁴明治薬科大学公衆衛生・疫学研究室

3-P25-6 児童青年期注意欠如・多動症患者に対するデジタル治療SDT-001の臨床試験

○三上 克央¹、宮島 祐²、西野 良³、福寿 宏樹⁴、河添 有宏⁴、木下 陽介⁴、岡田 俊⁵
¹東海大学医学部総合診療学系精神科学、²東京家政大学、³京都大学医学部附属病院先端医療研究開発機構、
⁴塩野義製薬株式会社医薬開発本部、⁵奈良県立医科大学精神医学講座